

「ガクの情コミ」バーチャル研究交流祭を開催しました

情報コミュニケーション学部は、2020年12月12日（土）に「ガクの情コミ」バーチャル研究交流祭を開催しました。

本学部の基礎ゼミナール（1年生）、問題分析ゼミナール（3年生）、問題解決ゼミナール（4年生）から計31グループ・総勢175名が日頃の研究成果を発表しました。視聴に訪れてくれた方は、述べ数百人に達しました。

この研究交流祭は Zoom を活用したオンライン形式で実施され、リアルタイム発表とポスターセッション（オンデマンド）発表の2つの形態で行われました。多くの参加学生にとって Zoom を活用したオンラインでの発表は初めての経験でしたが、いずれの発表もゼミナールでの研究活動が反映された興味深い内容で、発表後の質疑応答は非常に白熱したものとなりました。オンラインで実施された今回の研究交流祭は、対面型の発表に勝るとも劣らぬ盛り上がりだったと感じました。

研究交流祭への参加者、視聴に訪れてくれた学生の皆さん、そして研究交流祭の企画・運営に尽力してくれた学生実行委員会の皆さんに改めて御礼を申し上げます！

<参加ゼミナールと発表タイトル>（五十音順）

☆基礎ゼミナール

清原聖子ゼミナール

「新型コロナに関するインフォデミックの中でどう情報選択すべきか」

「政治的出来事と政策から見る全国紙の論調比較」

坂本祐太ゼミナール

「キラキラネームと人生：名前によって変えられた運命」

「若者言葉：時代とともに変化するカタチ」

島田剛ゼミナール

「コーヒーから格差を考える：ハワイ・コナ農園の高い品質のコーヒーとそのマーケット」

「Leave no one behind：神保町から目指す共生社会」

竹中克久ゼミナール

「今を生きる大学生：どうにもならない学生生活」

「現代社会における「死」の不平等性について」

「コロナ禍でも恋したい？：コロナ禍における恋愛観と恋愛手段の変化について」

「性教育ってなに？：“性”だけでなく“生”に関わること」

堀口悦子ゼミナール

「アニメで考えるジェンダー」

「脱毛広告の落とし穴」

宮川渉ゼミナール

「ハモリの効果」

横田貴之ゼミナール

「アルカイダの野望：「9.11」はなぜ起きたのか？」

☆問題分析ゼミナール

牛尾奈緒美ゼミナール

「認知症と共に生きるために」

「若者が美と健康でいるための新規ビジネスモデル」

川島高峰ゼミナール

「地方創成と with コロナ, Post コロナの可能性 長野県小海町を事例として」

清原聖子ゼミナール

「新型コロナウイルスの拡大がアメリカ社会にもたらしたもの」

「なぜアメリカにおいて銃犯罪は減らないのか」

施利平ゼミナール

「少子化 “サイコウ”」

竹中克久ゼミナール

「これからのいじめ教育：現実空間と仮想空間における四層構造の差異」

「就職活動における学生と企業の関係：理想の就活とは何か」

「ダイバーシティマネジメント：多文化共生の課題・解決策」

「日本にアクティブラーニングは必要か：海外事例との比較を通して」

根橋玲子ゼミナール

「アイデンティティとオリンピック：ミックスルーツの人々」

「ディズニー映画に見るジェンダー観の移り変わり」

「日米の接客の違い」

「日本のLGBTs 問題」

「マスクによるコミュニケーションの変化」

堀口悦子ゼミナール

「身近なジェンダー問題：MV と AI」

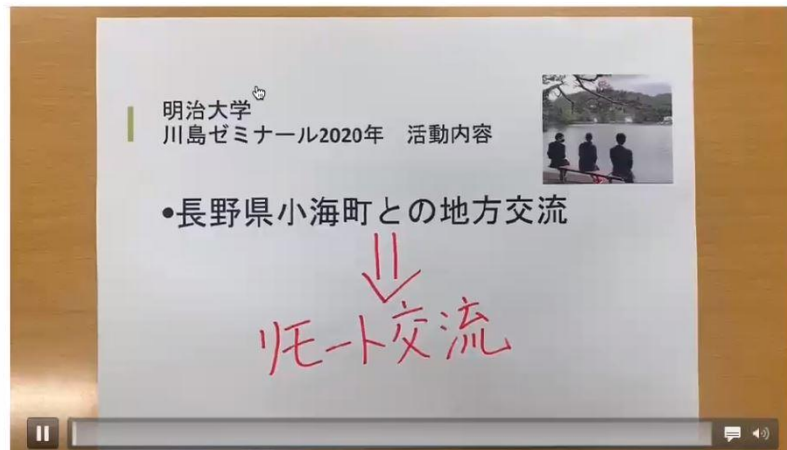
☆問題解決ゼミナール

根橋玲子ゼミナール

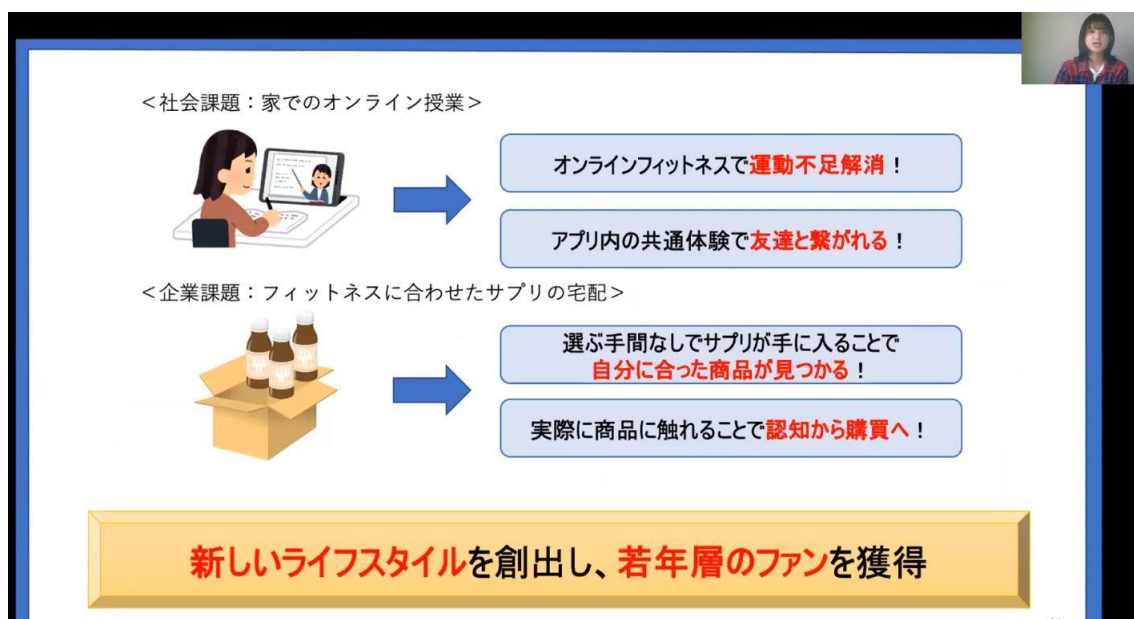
「リモートコミュニケーションと対面コミュニケーションの違いについて」

「会いに行こう、小海。会いに憩う、小海。」

CM



<川島ゼミ発表>



<牛尾ゼミ発表>

結論

- コーヒー農家の貧困は労働に見合った賃金を受け取れないことにある
- 品質＋労働力 > コーヒー豆の価格 という状況を品質＋労働力 = コーヒー豆の価格 にする必要がある
- 企業や業者がコーヒー豆に支払う価格は本当に適正なのだろうか？
- 今私たちが飲んでいるコーヒーの価格は本当に適正なのだろうか？



⇒ コーヒー農家の貧困には、
コーヒーに関わる全ての人々が関係している

<島田ゼミ発表>

ドラえもんから考える ジェンダー問題

- ジェンダー的な嫌がらせをポップに描く
→ 視聴者が軽くとらえてしまうのでは？
- 前時代的な表現をどう思うか？



<堀口ゼミ発表>

(文責 横田貴之)